

NPO育Qひろば 2024年 12月報

活動報告

24年振返り……………P2
連携案件…………… P3
依頼案件…………… P4,5

~~~~~名古屋市立大学共同イベント~~~~~

- 共創まちづくり研究
- 両立万博、大学生向けキャリアイベント
谷口先生、松村先生、植田先生
- 第128回日本小児科学会学術集会 '25/4/19(土)
- ステージ登壇、ワークショップ
岩田先生

~~~~~先の依頼案件~~~~~

- 碧南市 2月2日(日)
- 元イタメンのしくじり先生から学ぶ!夫婦で取り組む
育休・育児のリアル体験談
- CFLSワークショップ(名古屋市案件) 2月22日(土)

- 企業案件 3月
- ダイバーシティに関する講演&男性育休座談会

Mission	おとなも子ども あなたらしい「幸せ」をもっと身近に
Vision	子育ても仕事も大切にしたいパパママのために ありたい自分、社会を共創していくひろば(コミュニティ)
Value	共有 経験や情報を与えあう(発信) 共感 感情を分かち合う(寄り添い) 共存 多様な人を受け入れ合う(受容) 共育 共に育ち育て合う (おとなも子どもも社会も)



自前案件

24年振返り

NPO
育Qひろば

▼概要 やれること、可能性が広がった1年！着実にNPO育Qひろばは成長している

2024年のイベント一覧。自分たちの背丈に応じてジワリジワリとやれることが増え始めている。連携している名市大さんとのコラボイベント増加。企業や団体からの登壇依頼も増加。

男性育休に関しては、取得することが市民権を得てきている。それに伴いどう育休を取るか？から過ごし方、その後の両立へと意識や課題がシフトしてきている。社会構造的に、最終的にどこの課題がボトルネックになるか明確になった。この構造には誰しものが絡めとられるため見える化、言語化することで少しでも当事者の不安を取り除けるようにしたい。

また、男性育休が増えたことで面白い変化も出始めている。それは男性育休セミナーへ男性管理職の参加者が増え始めている事である。本人が育児含め両立したこともないため、部下が何に困っているか？解像度を上げたくて参加するケースがみられる。いい傾向である。両立で悩みを抱えることは個人の課題ではなく、社会構造上の課題であることをロジカルに伝え、組織、社会として手を打っていくことが大切だというメッセージを今後も伝えていきたい。

カテゴリ	イベント
自前	11月 両立万博2024
連携 (名市大)	1月 少子化に関する国際対話イベント 3月 私はどう生きるか？ ～パーツモデルの掛け合わせで未来を広げる～ 7月 児童家庭福祉論 講師 11月 両立万博2024-学生参加-
依頼	1月 ikumado-徳島育児セミナー 5月 ikumado-東京の高校生向け男性育休 CFLS 創立イベント インスパイアーズリーダー JR東日本 PeerCross 男性育休が家族のキャリアにもたらす価値 7月 愛媛県庁有志団体 育児を楽に楽しくするための両立ハック術 11月 東京海上日動 仕事とライフの両立セミナー～男性育休編～ 名古屋市 男性育休促進パネルディスカッション&交流会 Station-AI 100kmと5mの包摂性 イギリスの経済誌 The Economist掲載

増加傾向



自前イベント 両立万博2024



ステーションAI 100kmと5mの包摂性

連携案件

連携：名古屋市立大学 「共創まちづくり研究推進事業」等協業

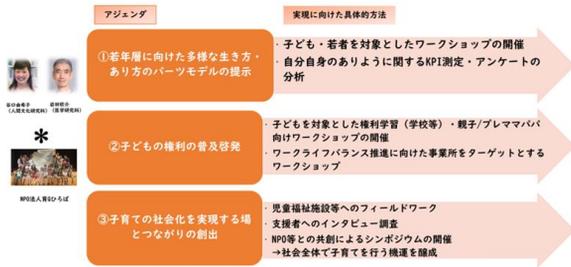
茂木・廣田

▼名市大さんとの協業案件

来年4月19日の小児科学会の育Qひろば参画イベントの内容決め等やり取りが開始。
育Qひろばの理念を体現し、持続可能な取り組みの礎になるようコンセプト作りから作りこむ。

案件	日程	名市大担当	内容
「共創街づくり研究事業」	1/25 or 26	谷口、上田先生	コンセプト動画づくり予定
	12月～1月	服部先生、松村先生	男性育休取得者に対しインタビュー調査によるデータ取りを希望
第128回小児科学会 図1	令和7年4月19(土)	岩田先生	①ステージ登壇 ②ワークショップ

目的：多様な選択が尊重される「子育ての社会化」



①～3/31 コンセプト動画作成
名市大×育Qひろばの活動理念、ビジョンが伝わるコンセプト動画作成予定。
12/20第一回打ち合わせ

②4/19 小児科学会
当日の内容案決定。今後、詳細、予算等を詰めていく。

連携：名古屋市立大学 「パパサークルに参加する意味とは？」

伊藤

▼概要

パパがサークル(育Qひろば)に参加することの付加価値とは何か？現在では言語化されておらず見過ごされがちな育Qひろばというコミュニティの存在意義を研究対象として調査頂く。

研究課題名：パパサークル参加が、父親の仕事とキャリアのやり直し、家庭との両立、地域参加などに与える影響やそのプロセスに関する研究

本研究は、近年増加しているパパサークルに参加するパパへのインタビュー調査研究から、パパサークルでの活動が、パパ自身にとっての変化、パパ同士の交流・学習・研修、地域活動への参加・定着にどのようなプロセスを経て、いかなる影響をもたらすのかを明らかにし、パパサークルを通した男性育児のあり方への示唆を導くことを、研究目的とします。

▼状況

翼含め育Qひろば加入のパパ6名のデプスインタビュー実施中。今の時代、育Qひろばはどんな価値があるのか？乞うご期待！

12月～1月にかけてインタビュー予定

依頼案件

イギリスの経済紙 The Economist掲載『東アジアの新しい父親像』

伊藤

▼概要

歴史あるイギリスの経済新聞紙『The Economist』にインタビュー頂き、東アジアの新しい父親像として掲載頂いた。東アジア各国の文化的に根強い性別役割分担意識に一石を投じる記事。

各国でインタビューを進めおり、どうしたら記事に掲載頂けるか？工夫を凝らし、無事に記事に掲載頂くことができました。

Asia | Hands on

Fathers are doing more child care in East Asia

About time, too



A home run for housework PHOTOGRAPH: NORIKO HAYASHI

Nov 28th 2024 | 141 PB, TOKYO AND SEOUL

Save Share Give



e-doing-more-child-care-in-east-asia



Mr Ito is not alone. Across East Asia a quiet revolution is reshaping fatherhood.

碧南市：男女共同参画フォーラム 夫婦登壇 2/2(土)

伊藤

▼概要

碧南市の男女平等参画推進委員を務める友人からの依頼から、夫婦登壇させて頂くことに。男性育休が増えてくる中、自分のしくじり経験を面白おかしく聞いてもらい、その後いかに平日パパでいる事が大切か？そのために備えることは何か？大事なマインドセットはなにか？をお話予定。

余談であるが、友人からの依頼、紹介は自分が一番気合の入るシチュエーションのため、今回を機に育休や両立に関して、また新たな言語化、見える化ができる予感がある。



男女共同参画フォーラム

元イタメンのしくじり先生から学ぶ！夫婦で取り組む
育休・育児のリアル体験談

男女共同参画推進委員会 ☎95-9872

時 2月2日(日) 13時30分～(開場13時～) 所 市役所 2階会議室4・5

コーディネーター 小高直子氏 (CBCアナウンサー)

パネリスト 伊藤翼氏 (イクメンスピーチ甲子園2020優勝者) と妻：佳苗氏

¥ 無料 (1歳～就学前の子の無料託児あり)

申 1月6日(月)9時より碧南市電子申請・届出システム、電話、
メール (☎tiika@city.hekinan.lg.jp)、直接のいずれかで
地域協働課内男女共同参画推進委員会

他 託児希望は1月17日(金)までに申し込んでください。



小高直子氏▷



伊藤翼氏、佳苗氏▷

依頼案件

CLFS依頼：未来デザインDay2 ワークショップ

伊藤、廣田、
植田

▼概要

翼がインスパイアリーダーを務めるCFLSからの依頼。登壇、パネルディスカッション後に参加者の学びを深めるためのワークショップを実施。ワークショップのデザインを育Qひろばで実施。

廣田さん、植田さんにも事務局として入って頂き、育児をする当事者パパママである育Qひろばならではの着眼点、訴求点あるワークショップデザインに向けて始動。12/24初の会合。

2/22の本番に向け2w毎の打ち合わせ予定で進める→ワークショップもやれる育Qひろばを目指す



その他 進行中の案件

伊藤

- ・ 2月 公認会計士のパパココミュニティとの座談会
- ・ 2月 東京の企業様へ夫婦登壇 『両立とキャリアのリアル』
- ・ 3月 大手繊維メーカーさんダイバーシティイベント登壇